



「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律案」の廃案を求める請願

一 請願理由

2015年5月27日、超党派フリースクール等議員連盟・夜間中学等義務教育拡充議員連盟の合同総会が開かれ「多様な教育機会確保法(仮称)案」が提案されてから、「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律案」として継続審議になるまで、登校拒否・不登校当事者や親たち、関係者の賛否は大きく割れ、その懸念の声はますます広がっています。法案の内容も当初の「フリースクール支援法案」から、支援という名の子どもたちを排除する法案へと大きく変わりました。不登校の小・中学生は年間12万3000人以上にのぼります。いじめや体罰などに傷つきながら、追い詰められた子どもたちの自殺は後を絶ちません。不登校は、教育の問題だけでなく、子どもの命にかかわる国民的課題です。

文部科学省が不登校の対策をすればするほど、不登校の子どもが増え、命を絶つ子どもも増えています。文部科学省の不登校対策は、不登校の子どもを追いつめています。効果を上げていない施策を法律にする必要はありません。

多様化が必要なのは、学校です。学校での少人数学級や教員の増員が必要です。様々な子どもたちを支援という名で分けていくのではなく、共に学び合い、育ちあうことのできる学校こそ必要です。子どもたちを分断し、差別する「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保に関する法律案」の廃案を強く求めます。

二 請願事項

- 1 「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律案」の廃案を求めます。
- 2 夜間中学については、法律を分けて、当事者の意見を尊重し、進めてください。

氏名	住所

■署名送付先

NPO 法人 子どもと共に歩む

フリースペースたんぽぽ

〒230-0061 横浜市鶴見区佃野町1-7-202

【取扱団体】

(第2次集約 : 2016年10月末)